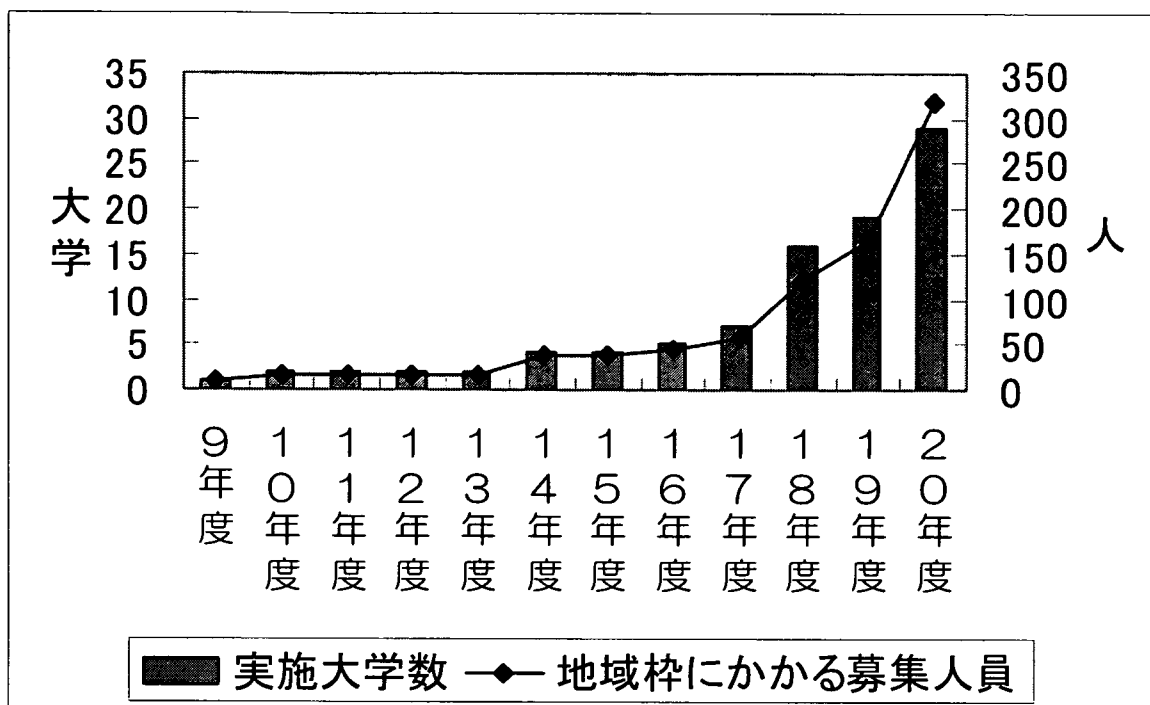


図3 地域枠実施の年次推移



## 地域の保健・医療および住民の受療行動に関する調査の概要

### 1. 調査の目的

へき地・離島における保健医療の状況と住民の医療に対する満足度および受療行動を明らかにする。

医療に対する「安心」を推し量る指標として、医療に対する「主観的満足度」を用いる。

医療を受ける住民の満足度と受療行動および実際の医療サービスの配置（客観的指標）との関連を解析し、満足度との乖離の大きさを客観的に評価する。この結果を医療側から見た資料と合わせて分析し、持続可能なへき地等における保健医療を実現する方策を立案するための参考資料とする。

### 2. 調査の対象

島根県隠岐諸島、長崎県小値賀町、鹿児島県十島・下甑島・与論島に居住する住民

### 3. 調査票への記入

調査票にそれぞれ直接ご記入の上、ご返送ください。

### 4. 調査票の取り扱い

調査は無記名で行ないます。ただし、地域ごとの分析も行なう予定です。

### 5. 調査の実施主体および調査結果の取りまとめ

本調査は厚生労働科学研究「持続可能なへき地等における保健医療を実現する方策に関する研究」班〔主任研究者 鈴木正之（自治医科大学救急医学教室教授）〕で実施するものです。

厚生労働科学研究「持続可能なへき地等における保健医療を実現する方策に関する研究」班では、調査結果を取りまとめ、報告書を作成します。

### 6. 調査内容照会先

自治医科大学救急医学教室(担当：鈴木、今道、岡本)

〒329-0498 栃木県河内郡南河内町薬師寺 3 3 1 1 - 1

電話 : 0285-58-7395

F A X : 0285-44-0919

## 保健・医療に関するアンケート調査のお願い

厚生労働科学研究「持続可能なへき地等における保健医療を実現する方策に関する研究」班

[主任研究者 鈴木正之(自治医科大学救急医学教室教授)]

### 1. 調査の目的

われわれは、へき地等における保健医療を充実するために持続可能な対策はどうかあるべきかについて検討を行なっております。このたび、地域の住民の方の医療に対する満足度と実際の受診行動を調査することと致しました。このアンケートの結果をふまえ、へき地等の保健医療を充実する対策を立案していくことと致します。

### 2. 調査の対象

島根県隠岐諸島、長崎県小値賀町、鹿児島県十島・下甕島・与論島の住民の方々

### 3. 調査票への記入

調査票にそれぞれ直接ご記入の上、封筒に入れ、厳封しご返送(ご提出)ください。

### 4. 調査票の取り扱い

調査は無記名で行ないます。ただし、地域ごとの分析については行なう予定です。

### 5. 調査内容照会先

自治医科大学救急医学教室(担当：鈴木、今道、岡本)

〒329-0498 栃木県河内郡南河内町薬師寺3311-1

電話 : 0285-58-7395

F A X : 0285-44-0919

## 地域の保健・医療および住民の受療行動に関するアンケート

1) ここ1年間に診療所や病院を受診しましたか。あてはまる番号を1～4から選んで、○をして下さい。

1. 受診した

それはどのような病気でしたか。次のあてはまるもの全てに○をつけてください。

- a) 急性の病気で受診中。
  - b) 急性の病気で受診したことがある。
  - c) 慢性の病気で定期的に受診中。
2. 慢性の病気を持っているが、体調が良かったので受診しなかった。
3. 1年以上前から医者にかかったことはない。

☆1もしくは2と回答された方にお聞きます。よろしければ下記に受診された病名をお書きください。何回か受診された方はそれぞれご記入ください。思い出せるご病気だけで結構です。

- (病名： )
- (病名： )
- (病名： )
- (病名： )
- (病名： )

2) 現在、お住まいの地域の保健・医療、福祉サービスなどについてお聞きます。

a. 現在、お住まいの地域の保健活動で困っておられることはありますか。

困っておられることのすべてに○をつけてください。

- 1. 住民健診、2. がん健診、3. 乳幼児健診、4. 予防接種、5. 老人保健、6. 歯科保健、
- 7. 健康相談・健康教育、
- 8. その他 (具体的に )
- 9. 特に困っているところはない

b. 現在、受けることができる医療（島内だけでなく島外に行くことを含め）に関して、どの程度、満足していますか。

- 1. 満足    2. やや満足    3. やや不満    4. 不満

- c. 現在、下記の医療や福祉サービス等（島内だけでなく島外に行くことを含め）に関して、項目ごとにどの程度、満足していますか。あてはまる番号を1～5から選んで、○をつけてください。

	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
風邪や腹痛、下痢などの急性の病気	1	2	3	4	5
潰瘍、胆石、肝臓病、喘息などの慢性の病気	1	2	3	4	5
高血圧、高脂血症、糖尿病などの生活習慣病	1	2	3	4	5
在宅診療(往診)	1	2	3	4	5
救急医療	1	2	3	4	5
心臓病	1	2	3	4	5
脳卒中	1	2	3	4	5
がん	1	2	3	4	5
こどもの病気	1	2	3	4	5
お産	1	2	3	4	5
婦人科の病気	1	2	3	4	5
目の病気	1	2	3	4	5
耳鼻科の病気	1	2	3	4	5
皮膚の病気	1	2	3	4	5
こころの病気	1	2	3	4	5
関節痛や骨折など整形外科の病気	1	2	3	4	5
人工透析	1	2	3	4	5
リハビリテーション	1	2	3	4	5
歯科診療	1	2	3	4	5
デイケア、ショートステイ、老人ホームなどの介護サービス	1	2	3	4	5
生活保護などの福祉サービス	1	2	3	4	5

- d. 専門診療で充実してほしいものは何ですか。該当するもののすべてに○をつけてください。
1. 外科、2. 整形外科、3. 脳神経外科、4. 耳鼻いんこう科、5. 眼科、6. 小児科、
  7. 皮膚科、8. 放射線科、9. 泌尿器科、10. 精神科、11. 産婦人科、12. 麻酔科、
  13. リハビリテーション科、14. 呼吸器内科、15. 神経内科、16. アレルギー膠原病科、
  17. 循環器科、18. その他（具体的に \_\_\_\_\_ )
  19. 特にない
- e. 島外で受診する理由は何ですか。該当するもののすべてに○をつけてください。
1. より専門的な医療を受けたい
  2. 子供や親戚がいる
  3. その他( \_\_\_\_\_ )
- f. 島内で受診する理由は何ですか。該当するもののすべてに○をつけてください。
1. 信頼できる医師がいる
  2. 便利
  3. 経済的な理由
  4. その他( \_\_\_\_\_ )

- g. 現在、受けることができる医療や福祉サービス等に関して、受診やサービスを受けるための交通手段について、あてはまる番号を1～5から選んで、○をつけてください。

	車やバスで 1時間未満	車やバスで 1時間以上	海上タクシ ー	定期船、飛 行機、ヘリ コプター	わからない
風邪や腹痛、下痢などの急性の病気	1	2	3	4	5
潰瘍、胆石、肝臓病、喘息などの慢性の病気	1	2	3	4	5
高血圧、高脂血症、糖尿病などの生活習慣病	1	2	3	4	5
救急医療	1	2	3	4	5
心臓病	1	2	3	4	5
脳卒中	1	2	3	4	5
がん	1	2	3	4	5
こどもの病気	1	2	3	4	5
お産	1	2	3	4	5
婦人科の病気	1	2	3	4	5
目の病気	1	2	3	4	5
耳鼻科の病気	1	2	3	4	5
皮膚の病気	1	2	3	4	5
こころの病気	1	2	3	4	5
関節痛や骨折など整形外科の病気	1	2	3	4	5
人工透析	1	2	3	4	5
リハビリテーション	1	2	3	4	5
歯科診療	1	2	3	4	5
デイケア、ショートステイ、老人ホームなどの介護サービス	1	2	3	4	5
生活保護などの福祉サービス	1	2	3	4	5

- 3) もし、あなたやあなたの家族で次のようなことが起こったときどうすると思いますか。そういう場面になったらどうするかを考えて回答してください。あてはまる番号に○をつけてください。

- a. あなたは朝、おなかが痛いことに気がついて目が覚めました。なんとなく熱っぽいようです。トイレへ行ったらいつもより少し軟らかい大便でした。そういえば昨日の夜、あなたは寄合いでもらった弁当を食べました。

- ①近くの診療所(開業医)を受診する
- ②消化器科の専門医を受診する
- ③救急車を呼ぶ
- ④薬局(もしくは家の置き薬)で薬(ドリンク剤や健康食品等も含む)を買い、飲んで様子をみる
- ⑤何もしないで家で様子をみる

- b. あなたのこども(お孫さん)[2歳]が39°Cの熱を出しました。元気がいつもよりありません。
- ①近くの診療所(開業医)を受診する
  - ②小児科の専門医を受診する
  - ③救急車を呼ぶ
  - ④薬局(もしくは家の置き薬)で薬を買い、飲んで様子を見る
  - ⑤何もしないで家で様子を見る
- c. あなたの(義理の)お父さんが、食事中に「うっ」とうなって倒れました。話しかけても、うなづいてばかりいます。
- ①近くの診療所(開業医)を受診する
  - ②脳外科等の専門医を受診する
  - ③救急車を呼ぶ
  - ④薬局(もしくは家の置き薬)で薬(ドリンク剤や健康食品等も含む)を買い、飲んで様子を見る
  - ⑤何もしないで家で様子を見る
- d. あなたの(義理の)お母さんが、急に胸のあたりを痛がり始め、苦しんでいます。
- ①近くの診療所(開業医)を受診する
  - ②循環器科等の専門医を受診する
  - ③救急車を呼ぶ
  - ④薬局(もしくは家の置き薬)で薬(ドリンク剤や健康食品等も含む)を買い、飲んで様子を見る
  - ⑤何もしないで家で様子を見る
- e. あなたはここ数ヶ月、食後しばらくしてから胃のあたりがシクシク痛むことに悩んでいます。「そのうち治るだろう」と様子を見ていましたが、変わりません。
- ①近くの診療所(開業医)を受診する
  - ②消化器科等の専門医を受診する
  - ③救急車を呼ぶ
  - ④薬局(もしくは家の置き薬)で薬(ドリンク剤や健康食品等も含む)を買い、飲んで様子を見る
  - ⑤何もしないで家で様子を見る
- f. あなたが受けた住民健診の結果がもどってきました。血液検査で「血糖値が異常」とのことで、「糖尿病の疑いがあります。地域の診療所を受診してください。」と勧められました。そういわれても、特に体調に変わったことはありません。
- ①指定された診療所(開業医)を受診する
  - ②指定されたところにはいかに、糖尿病の専門医を受診する
  - ③救急車を呼ぶ
  - ④薬局(もしくは家の置き薬)で薬(ドリンク剤や健康食品等も含む)を買い、飲んで様子を見る
  - ⑤何もしないで家で様子を見る

g. あなたが受けた胃がん健診の結果がもどってきました。検診車で撮ったバリウム検査が「要精査」とのことで、「胃がんの疑いがあります。地域の診療所で精密検査を受けてください。」と勧められました。

- ①指定された診療所(開業医)を受診する
- ②指定されたところにはいかずに、消化器科等の専門医を受診する
- ③救急車を呼ぶ
- ④薬局(もしくは家の置き薬)で薬(ドリンク剤や健康食品等も含む)を買い、飲んで様子を見る
- ⑤何もしないで家で様子を見る

h. あなたが受けた肺がん健診の結果がもどってきました。「エックス線写真で影がある」とのことで、「肺がんの疑いがあります。地域の診療所で再検査を受けてください。」と勧められました。「再検査でも異常があれば、大きい病院を紹介してもらおうように」と書いてありました。

- ①指定された診療所(開業医)を受診する
- ②指定されたところにはいかずに、呼吸器科等の専門医を受診する
- ③救急車を呼ぶ
- ④薬局(もしくは家の置き薬)で薬(ドリンク剤や健康食品等も含む)を買い、飲んで様子を見る
- ⑤何もしないで家で様子を見る

i. あなたは、ここ数週間、腰痛に悩まされています。

- ①近くの診療所(開業医)を受診する
- ②整形外科の専門医を受診する
- ③整骨院あるいはマッサージ師を受診する
- ④救急車を呼ぶ
- ⑤薬局(もしくは家の置き薬)で薬(湿布薬等も含む)を買い、使ってみる
- ⑥何もしないで家で様子を見る

j. いつもはあなたの兄弟と同居しているあなたの(義理の)お母さんが、ここ数か月夜中起きだして家の外へ出てしまったり、お金が合わないと言いだりしていると困っていると相談を受けました。

- ①近くの診療所(開業医)を受診する
- ②神経内科等の専門医を受診する
- ③役場の保健師などに相談する
- ④救急車を呼ぶ
- ⑤薬局(もしくは家の置き薬)で薬(湿布薬等も含む)を買い、使ってみる
- ⑥何もしないで家で様子を見る

h. お住まいの地域であなたご自身やお嫁さんたちが「お産」をするとなったら、どうしますか。

- ①近くの産婦人科の診療所(開業医)を受診する
- ②病院の産婦人科医を受診する
- ③助産院(助産師)を受診する

次ページにもあります。



4) 最後に、お住まいの地域の保健医療対策についてご意見がありましたら、ご記入ください。

恐れ入りますが、次にあなたご自身のことについてお答えください。

年齢 1. 20歳未満、2. 20代、3. 30代、4. 40代、5. 50代、6. 60代、  
7. 70代、 8. 80代、9. 90代以上

性別 1. 女性、2. 男性

職業 1. お勤め(パートタイムを含む)、2. 公務員、3. 自営業、4. 農林水産業、5. 主婦、  
6. 学生、7. その他、8. 無職、

ご回答ありがとうございました。

## 地域における母子および小児の保健・医療に関する調査の概要

### 1. 調査の目的

昨今の、産婦人科医の減少を原因の一つとする産科医療の集約化や、小児科における入院治療を行なう二次医療機関の減少・休日夜間などの時間外診療を行なう施設の減少などの課題をふまえ、小児科医・産科医の不足感のある地域およびへき地・離島の母子および小児の保健・医療の状況とこうした地域で子どもを持つ住民の満足度、産科・小児科問題に対する考え方を調査する。

保健・医療に対する「安心」を推し量る指標としては「主観的満足度」を用いる。

住民の母子保健、産科・小児科医療に対する満足度や、実際に行なわれている保健・医療のサービスの配置（客観的指標）との関連を解析し、満足度との乖離の大きさを客観的に評価する。また、産科医療の集約化、小児科診療における機能分担などに関する住民の意見についても調査を行なう。この結果を、持続可能なへき地等における保健医療を実現する方策を立案するための参考資料とする。

### 2. 調査の対象

対象地区：小児科医・産科医の不足感のある下記の地域およびへき地・離島

新潟県湯沢町、島根県隠岐諸島、長崎県、鹿児島県の離島

調査対象：乳幼児健診受診者の保護者

### 3. 調査票への記入

調査票にそれぞれ直接ご記入の上、封筒に入れてご提出ください。

### 4. 調査票の取り扱い

調査は無記名で行ないます。ただし、地域ごとの分析も行なう予定です。

### 5. 調査の実施主体および調査結果の取りまとめ

本調査は厚生労働科学研究「持続可能なへき地等における保健医療を実現する方策に関する研究」班〔主任研究者 鈴川正之(自治医科大学救急医学教室教授)〕で実施するものです。

厚生労働科学研究「持続可能なへき地等における保健医療を実現する方策に関する研究」班では、調査結果を取りまとめ、報告書を作成します。

### 6. 調査内容照会先

自治医科大学救急医学教室(担当：鈴川、今道)

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3 3 1 1 - 1

電話 : 0285-58-7395

F A X : 0285-44-0919

# 保健・医療に関するアンケート調査のお願い

厚生労働科学研究「持続可能なへき地等における保健医療を実現する方策に関する研究」班

[主任研究者 鈴木正之(自治医科大学救急医学教室教授)]

## 1. 調査の目的

私たちは、医療の不足感のある地域を含めた、へき地等における保健医療を充実するために持続可能な対策はどうあるべきかについて検討を行なっております。

このたび、地域の住民の方の母子・小児の保健・医療に対する満足度について調査することと致しました。このアンケートの結果をふまえ、へき地等の保健医療を充実する対策を立案していくことと致します。

## 2. 調査の対象

新潟県湯沢町、島根県隠岐諸島、長崎県、鹿児島県の離島にお住まいの方々

## 3. 調査票への記入

調査票にそれぞれ直接ご記入の上、封筒に入れてご提出ください。

## 4. 調査票の取り扱い

調査は無記名で行ないます。ただし、地域ごとの分析については行なう予定です。

## 5. 調査内容照会先

自治医科大学救急医学教室(担当：鈴木、今道)

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-1

電話 : 0285-58-7395

F A X : 0285-44-0919

## 母子・小児の保健・医療に関するアンケート

本日、健診をお受けになった子どもさんについてお答えください。

1) 今日受けられたのは、次のどの健診ですか。1つ選んで○をつけてください。

- |              |             |               |
|--------------|-------------|---------------|
| 1. 生後1か月健診   | 2. 3～4か月健診  | 3. 6～9か月健診    |
| 4. 10～12か月健診 | 5. 1歳6か月健診  | 6. 3歳～3歳6か月健診 |
| 7. 就学前健診     | 8. その他（具体的に | )             |

2) お子さんを連れてこられた方(このアンケートにご回答いただいている方)とお子さんの関係を教えてください(回答は1つ)。

- |             |             |        |          |
|-------------|-------------|--------|----------|
| 1. 母親       | 2. 父親       | 3. 祖父母 | 4. 同居の親族 |
| 5. 親族(同居以外) | 6. その他（具体的に |        | )        |

3) お子さんが生まれたのはどこですか(回答は1つ)。

- |                         |            |                       |
|-------------------------|------------|-----------------------|
| 1. 自宅                   | 2. 島内の産科病院 | 3. 島外の産科病院(お母さんの実家近く) |
| 4. 島外の産科病院(お母さんの実家近く以外) | 5. 助産院     |                       |
| 6. その他（具体的に             |            | )                     |

4) お子さんを妊娠されているときの妊婦健診はどこで受けられましたか。

複数ある場合はもっとも回数が多かったところをお答えください(回答は1つ)。

- |                         |                       |               |
|-------------------------|-----------------------|---------------|
| 1. 島内の産科病院              | 2. 島外の産科病院(お母さんの実家近く) |               |
| 3. 島外の産科病院(お母さんの実家近く以外) | 4. 助産院                | 5. あまり受診しなかった |
| 6. その他（具体的に             |                       | )             |

5) お産のときや妊婦健診を受診するときの交通手段を教えてください。

- |        |                 |         |               |
|--------|-----------------|---------|---------------|
| 1. 徒歩  | 2. バス等の陸上公共交通機関 | 3. 自家用車 | 4. 定期船・海上タクシー |
| 5. 航空機 | 6. その他（具体的に     |         | )             |

6) お産に関して、ご要望・ご不満について下記から当てはまるもの(3つ以内)を選んで○をしてください。

- |                          |                         |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. お産自体にかかる費用が高い。        | 2. お産以外(交通費・宿泊費)の費用が高い。 |
| 3. 健診にかかる費用が高い。          | 4. 産科の病院が遠い。            |
| 5. 受診機会が限られている(診療日が少ない)。 | 6. 上の子の世話をしてくれる人がいない。   |
| 7. 長期間、家族と離れなければならない。    | 8. 望んだタイプのお産ではなかった。     |
| 9. その他（具体的に              | )                       |

○をつけられたうち、もっとも重要なものの番号を記入してください。( )

7) 産婦人科の不足や、お産にまつわる医療事故などの対策として、産婦人科医療を行なう医療機関を集約して、産婦人科医師を複数配置しようという計画がありますが、下記のなかであなたの意見にもっとも合うもの1つに○をつけてください。

1. 医師に産婦人科の専攻を義務づけて、産婦人科の医師を増やすべきである。
2. 医療事故については能力をあげるなどで対応すべきで、受診の機会を減らすべきではない。  
(産婦人科の医師が1人いれば、安全なお産ができるようにすべきである。)
3. 医療事故が完全には防げないのであれば、集約化もやむを得ない。
4. 大切な子どもなので、医師などの設備の整った医療機関でお産をするのが理想である。
5. わからない
6. 上記のなかにはない。(具体的に )

つづいて、本日、健診をお受けになった子どもさんを含めた全てのお子さんについてお聞きします。

8) お子さんは何人いらっしゃいますか。 ( )人

9) 小児保健について下記から当てはまるもの(3つ以内)を選んで○をしてください。

1. 予防接種を受ける機会が少なく、1度逃すと時間が空いてしまう。
2. 予防接種の費用が高い。
3. 予防接種についての説明が不足していたり、相談にのってもらえなかったりする。
4. 健診を受ける機会が少なく、1度逃すと時間が空いてしまう。
5. 健診において、説明が不足していたり、相談にのってもらえなかったりする。
6. 小児科の専門医に対応してもらいたい。
7. その他 (具体的に )

○をつけられたうち、もっとも重要なものの番号を記入してください。 ( )

10) 普通の小児科診療(平日昼間)について、現在受けられる診療について満足しておられますか。  
1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満 5. わからない

11) 10)の理由について、下記から当てはまるもの(3つ以内)を選んで○をしてください。

1. ありふれた疾患については、診療所の医師が十分に対応してくれる。
2. 必要があれば、専門病院に紹介してくれる。
3. 専門的な相談には十分に対応してもらえない。
4. 小児の診察が不得意のようだ。
5. 十分な検査機器が揃っていない。
6. 小児科の専門医に対応してもらいたい。
7. 小児科の医療機関が遠い。
8. その他 (具体的に )

○をつけられたうち、もっとも重要なものの番号を記入してください。( )

12) 時間外の小児科診療(平日夜間や休日)について、現在受けられる診療について満足しておられますか。  
1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満 5. わからない

13) 12)の理由について、下記から当てはまるもの(3つ以内)を選んで○をしてください。

1. ありふれた疾患については、診療所の医師が十分に対応してくれる。
2. 診療所の医師が電話で相談にのってくれる。
3. 診療所の医師には対応してもらえない。
4. どこを受診すればいいのかわからない。
5. 交通手段がない。
6. 小児科の専門医に対応してもらいたい。
7. 小児科の医療機関が遠い。
8. その他 (具体的に )

○をつけられたうち、もっとも重要なものの番号を記入してください。( )

14) 時間外の小児科診療(平日夜間や休日)については、どのようなシステムがいいと思いますか。  
下記から当てはまるもの(3つ以内)を選んで○をしてください。

1. 診療所の医師(小児科医以外を含む)による対応(診察)
2. 看護師等(県単位)による電話相談
3. 診療所(役場)職員や専用窓口による小児科診療を行なっている医療機関の紹介
4. 地区単位の小児科医療機関による輪番制
5. テレビ電話システム(携帯を含む)による専門医等による相談
6. 診察可能な病院へ患者を搬送するシステム(患者搬送車、船、ヘリコプター等)
7. その他 (具体的に \_\_\_\_\_ )

○をつけられたうち、もっとも重要なものの番号を記入してください。( \_\_\_\_\_ )

15) 交通機関(自家用車、タクシー、船等を含む)を利用して小児科を受診する際の望ましい所要時間はどのくらいだと思いますか(この時間までは許容できるという意味です)。お答えください。

平日昼間( \_\_\_\_\_ )分 休日夜間( \_\_\_\_\_ )分

16) もし、島内の医療機関で、平日昼間に小児科専門医による出張診療が行なわれるとした場合、頻度としては週何日が望ましいと思われますか。

( \_\_\_\_\_ )日

最後に、ご家族のことにお聞きします。

17) 今日、健診をお受けになったお子さんの家族構成をお聞かせください。

1. お子さん(兄弟を含む)と親
2. お子さん(兄弟を含む)と親と祖父母
3. お子さん(兄弟を含む)と祖父母
4. お子さん(兄弟を含む)と親と祖父母と曾祖父母
5. その他

18) 今日、健診をお受けになったお子さんのお母さまのお仕事を教えてください。

1. 主婦
2. フルタイムで仕事
3. パートタイム
4. 自営
5. その他

ご回答ありがとうございました。

## 地域の保健医療に関するアンケート調査の概要

### 1. 調査の目的

全国のおさまな地域における保健医療の状況と改善すべき点を、医療機関との関係を中心に、行政機関の担当者から把握し、都市部とそれ以外の地域の比較を踏まえて、持続可能なへき地・離島での保健医療を実現する方策の立案に資することを目的としています。

### 2. 調査の対象

全国の全ての市区町村の地域保健担当者(保健事業に携わっている保健師、事務職等)  
(管内の無医地区(無医地区に準ずる地区を含む)、無歯科医地区(無歯科医地区に準ずる地区を含む)、へき地診療所(へき地診療所の要件を満たす民間医療機関等を含む)の有無を問いません。)

### 3. 調査票への記入

調査票にそれぞれ直接ご記入ください。

### 4. 調査日

平成19年9月10日(月)の状況についてご回答ください。

### 5. 調査票の取り扱い

調査内容の分析、結果の取りまとめ等は全て匿名で行います。ただし、自治体や医療機関の客観的データ(施設数、人口など)については、自治体や医療機関が特定できる形で取りまとめる可能性があります。

### 6. 調査票の配布

都道府県を通じて全ての市町村(東京都特別区を含む)に配布をお願いします。

### 7. 調査票の回収

都道府県が取りまとめ、事務局にご返送ください。

あわせて、都道府県への照会連絡先と、調査票配布先および配布数についても添付してください。それぞれ平成19年11月20日(火)までにご返送ください。

### 8. 調査の実施主体及び調査結果の取りまとめ

本調査は、厚生労働科学研究「持続可能なへき地等における保健医療を実現する方策に関する研究」班(主任研究者 鈴川正之(自治医科大学救急医学教室教授))で実施するものです。厚生労働科学研究「持続可能なへき地等における保健医療を実現する方策に関する研究」班は、調査結果を取りまとめて、報告書を作成します。

### 9. 調査票の返送先および調査内容の照会先

「持続可能なへき地等における保健医療を実現する方策に関する研究」班 事務局  
〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-1 自治医科大学救急医学  
電話：0285-58-7395 (担当 鈴川、今道、半澤、上野)  
FAX：0285-44-0919



## 地域の保健医療対策に関するアンケート調査

- A. 市区町村名： \_\_\_\_\_
- B. 回答者のお名前・職名：お名前 \_\_\_\_\_ 職名 \_\_\_\_\_  
E-mail address \_\_\_\_\_
- 職種(該当するものをお選びください)： 保健師    その他の医療職    事務職
- C. 市町村内の無医地区数： \_\_\_\_\_ 地区      D. 市町村内の無歯科医地区： \_\_\_\_\_ 地区
- E. 市町村内のへき地にある診療所の数： \_\_\_\_\_ か所  
(へき地診療所の要件を満たす民間施設を含む)
- F. 市町村内の病院の数： \_\_\_\_\_ か所
- G. 市町村内の人口： \_\_\_\_\_ 人
- H. 市町村内に次のへき地指定を受けている地域があれば○をつけてください(複数回答可)  
過疎    山村    豪雪    特豪    離島    沖縄    奄美

以下に言う「地区」とは、集落等を中心とした地域(人口が少ない地域では小学校単位等)を指します。「市町村」には東京都特別区を含みます。

### 【保健事業】

1. 貴市町村内で行われている保健事業のうち、貴市町村内の医療機関と連携して行なっているものに○を付けて下さい(複数可)。「連携して行なっている」ものとは、単に医師などの専門職の派遣を受けているだけのものや、場所の提供のみをうけているものは含まず、運営や事後指導などの密接な関わりがあるものとお考えください。

- ① 妊産婦の保健事業(母親教室(両親教室を含む。)、妊産婦訪問指導等)
- ② 予防接種(個別接種)
- ③ 乳幼児健診
- ④ 基本健康診査(成人保健)
- ⑤ 胃がん一次検診(上部消化管造影)
- ⑥ 肺がん一次検診(胸部エックス線写真)
- ⑦ 大腸がん一次検診(便潜血検査)
- ⑧ 乳がん一次検診(マンモグラフィ)

## 【医療】

貴市町村内の医療の状況についてお聞きします。あてはまるものを1つお選びください。

- a. 受けられる医療
2. 高血圧や糖尿病、高脂血症などの生活習慣病（がんを除く）、感冒・腹痛等ありふれた疾患の診療について
    - ①ほぼ全ての地区において、地区内の医療機関で対応している。
    - ②市町村内の医療機関で対応している。
    - ③市町村内での対応が難しく、他の市区町村まで行く必要がある。
  3. 小児の診療（発熱、感冒、喘息などの急性疾患）について
    - ①ほぼ全ての地区において、地区内の医療機関で対応している。
    - ②市町村内の医療機関で対応している（小児科専門医療機関以外を含む）。
    - ③市町村内での対応が難しく、他の市区町村まで行く必要がある。
  4. 妊婦健診、分娩などの産科診療について（婦人科を除く）
    - ①ほぼ全ての地区において、地区内の医療機関で対応している。
    - ②市町村内の医療機関で対応している。
    - ③市町村内での対応が難しく、他の市区町村まで行く必要がある。
  5. 婦人科の診療について（妊娠・分娩などの産科を除く）
    - ①ほぼ全ての地区において、地区内の医療機関で対応している。
    - ②市町村内の医療機関で対応している。
    - ③市町村内での対応が難しく、他の市区町村まで行く必要がある。
  6. 眼科の診療について
    - ①ほぼ全ての地区において、地区内の医療機関で対応している。
    - ②市町村内の医療機関で対応している。
    - ③市町村内での対応が難しく、他の市区町村まで行く必要がある。
  7. 耳鼻科の診療について
    - ①ほぼ全ての地区において、地区内の医療機関で対応している。
    - ②市町村内の医療機関で対応している。
    - ③市町村内での対応が難しく、他の市区町村まで行く必要がある。
  8. 整形外科の診療について
    - ①ほぼ全ての地区において、地区内の医療機関で対応している。
    - ②市町村内の医療機関で対応している。
    - ③市町村内での対応が難しく、他の市区町村まで行く必要がある。
  9. 皮膚科の診療について
    - ①ほぼ全ての地区において、地区内の医療機関で対応している。
    - ②市町村内の医療機関で対応している。
    - ③市町村内での対応が難しく、他の市区町村まで行く必要がある。

10. 初期救急（一次救急）について

- ①市町村内に 24 時間対応する一次救急センター（救急外来を専門に行なう施設）がある。
- ②24 時間対応ではないが市町村内に一次救急センター（救急外来を専門に行なう施設）がある。
- ③救急外来を専門に行なう施設ではないが、市町村内に対応する医療機関（診療所）がある。
- ④救急外来を専門に行なう施設ではないが、市町村内に対応する医療機関（病院）がある。
- ⑤市町村内に対応する医療機関はないが、近隣の市区町村の医療機関がある（輪番制を含む）。
- ⑥特にシステムは決まっておらず、その都度対応している。

b. 広域対応

11. 初期又は一次医療機関から、精密検査や入院のために高次の医療機関への紹介が必要な場合

- ①市町村内の医療機関で対応している。
- ②市町村内での対応が難しく他の市区町村まで行く必要があるが、連携システムがある。
- ③特にシステムは決まっておらず、その都度対応している。

12. 貴市町村内で平成 18 年度 1 年間に（平成 18 年 4 月～平成 19 年 3 月）に、ヘリコプターあるいは航空機による患者搬送はありましたか。

- ①あり ( ) 件 うち貴市町村外への搬送 ( ) 件
- ②なし

13. 患者の搬送（現場からの搬送、病院間の搬送等）以外にヘリコプターや航空機を利用するとしたら、どのような用途が考えられると思いますか（複数回答可）

**優先順位の高い順に 3 個までお選びください。**

- ア. 整形外科・眼科などの専門診療を担当する医療スタッフの送迎
- イ. 市町村内巡回バスのように他の地区の医療機関を定期受診する住民の送迎（産科受診など）
- ウ. 時間外に発生した傷病者の地区外への搬送（住民からの直接の依頼に基づく）
- エ. 地区外で行なわれる予防接種・乳幼児健診・基本健康診査などのための住民の送迎
- オ. へき地・離島で行なわれる妊産婦訪問指導などの保健事業のためのスタッフの送迎
- カ. 保健事業・診療などに必要な機材など物資の搬送
- キ. へき地・離島に居住する住民のための薬剤の搬送
- ク. その他、考えられるものをご自由にお書きください。

14. 貴市町村内における住民と医療機関との間の I T (Information Technology : 通信技術) を利用したシステムについて、次のうち、運用されているものをお聞かせください。（複数回答可）

- ア. 健康問題・医療機関の受診などに関する電話相談。
- イ. 救急疾患についての看護師による電話相談（診療時間外に行なわれているもの）。
- ウ. 救急疾患についての専門医による電話相談（診療時間外に行なわれているもの）。
- エ. 健康問題・救急疾患に関して啓蒙するホームページ。
- オ. 携帯によるテレビ電話を利用した電話相談
- カ. その他 具体的に( )

15. 貴市町村内における医療機関間のITを利用したシステムについて、次のうち、運用されているものをお聞かせください。(複数回答可)

- ア. 医療情報(静止画)の転送システム。
- イ. 医療情報(動画)の転送システム。
- ウ. 患者情報に関するテレビ電話などを用いた医師同士の相談システム(常時運用)。
- エ. 決まった時間に行なわれるテレビ会議システム。
- オ. カルテの共有を目的とした電子カルテシステム(電子紹介状などを含む)。
- カ. その他 具体的に( )

16. ITを利用した保健医療に関するシステムについてどのようなものがあつたらいいと思われますか(複数回答可) **優先順位の高い順に3個までお選びください。**

- ア. テレビ電話や画像(携帯電話や高速回線等)を用いた母子保健相談(育児相談等を含む)。
- イ. テレビ電話や画像(携帯電話や高速回線等)を用いた成人保健相談(栄養、生活指導など)。
- ウ. テレビ電話や画像(携帯電話や高速回線等)を用いた慢性疾患患者や在宅患者の経過観察。
- エ. 診療所や役場などに設置したテレビ電話等による時間外患者の受診相談。
- オ. 自宅で利用可能な携帯電話などのテレビ電話や画像を用いた時間外患者の受診相談。
- カ. その他、考えられるものをご自由にお書きください。

c. 地域における医療の供給状況

地域における医療の供給状況について、もっとも当てはまるものを1つお選びください。

17. 貴市町村内で平成19年1月以降、一般の外来診療(内科等)の診療時間の短縮や休診、入院患者の受入れ中止等、以前に比べ十分に診療機能を果たせなくなった医療機関はありますか。

- ①今のところ把握していない。
- ②少数(5施設未満)ある。
- ③5施設以上存在している。

18. 貴市町村内で平成19年1月以降、小児の外来診療の診療時間の短縮や休診、入院患者の受入れの中止等、以前に比べ十分に診療機能を果たせなくなった医療機関はありますか。

- ①今のところ把握していない。
- ②少数(5施設未満)ある。
- ③5施設以上存在している。